

「気持ちについて考えよう」

【ねらい】

- 自分の気持ちを知ったり、表現したりする。
- 友達のことを考えて、考えの違いを受け止める。

【学習の流れ】

1. 課題・めあて・ポイントを確認する。



うれしい
たのしい



イライラ
おこる



さんねん
くやしい



かなしい
なく

2. 気持ちについて考える活動をする。

- AB どっち ○感情表現ゲーム ○心の色を考えよう ○ジェスチャーで表そう
- 表情カード神経衰弱 ○あったか言葉とちくちく言葉 ○あったか言葉ゲーム
- 気持ちは何度？ ○温度当てゲーム ○気持ちに関する絵本の読み聞かせ
- 気持ちピンゴ ○わくわくショックバスケット など

※上記の中から、児童の実態に応じて教員が選択して行ったり、内容を変更して行ったりすることもあります。

3. 振り返りをする

- ①活動してみた感想を言う。
- ②意識して頑張ったことや、できたことを発表する。
- ③今日学んだことをクラスでどのように生かしたいか、考える。

担任の先生・保護者の皆様へ

今週の小集団活動では、気持ちについて考える活動をしました。気持ちには「嬉しい」「楽しい」「悔しい」「悲しい」など、様々なものがあります。自分の気持ちを理解して表現したり、自分の気持ちの傾向性を知ったりすることで自分を大切にしている行動につなげることができます。友達についても同様のことが言えます。

今回は、ゲームやエクササイズを通して、自分の気持ちを見つめたり、発達段階に応じて相手の気持ちを想像したりしました。同じ出来事でも、人によって感じ方が違うということに気付くことは、学校生活や社会の中で生きていく上でとても大切です。自分との違いを認め、どんな気持ちも大切だと理解することができるとういことです。そして、日々の学校生活の中で、自分や友達の気持ちを考えながら行動できるように願っています。